

令和8年度 事務事業評価シート（1）

〔 令和7年度事務事業 〕

一般会計				事務事業分類	A 一般事務事業
事務事業名	姉妹・友好都市交流事業			事業番号	008-022
担当部署名	文化観光局	局	文化国際部	部	国際課

I. 基本情報

事業の位置付け

1	堺市基本計画2025	施策との関連	有・無	戦略	1.堺の特色ある歴史文化 ～Legacy～		施策	(4)文化芸術の振興・国際交流の強化		
			有	取組の方向性	③姉妹・友好都市やアセアン諸国などの国際交流の強化					
		寄与するKPI	有・無	指標名	—					
	無		現状値	—		目標値	—			
	堺市SDGs未来都市計画 2021-2025	施策との関連	有・無	ゴール	ゴール(17)パートナーシップで目標を達成しよう		ターゲット	17.14 ,17.16		
			有	取組	パートナーシップ強化に向けた姉妹友好都市、アセアン地域などの連携促進					
		寄与するKPI	有・無	指標名	—					
			無	現状値	—		目標値	—		
2	関連計画			堺市国際化方針						
3	事業開始年度			昭和 42 年度		点検対象年度（個別計画）		令和 12 年度		
4	実施根拠			海外姉妹・友好都市提携の締結（アメリカ・パークレー市、中国・連雲港市、ニュージーランド・ウェリントン市、ベトナム・ダナン市）						

事業の概要

5	事業の実施主体	本庁、姉妹友好都市交流協会					
6	事業の対象	国際交流をしている堺市民、海外とのネットワーク構築や交流を希望する企業・団体等				対象数	単位
						-	-
7	事業の目的	海外姉妹・友好都市と文化・教育・経済・環境等の幅広い分野での交流を促進し、友好親善にとどまらないWin-Winの関係を構築する。また、ICTを活用したオンライン交流等、人の往来にとどまらない多彩な交流の輪を拡げ、国際交流を担う市民の増加を図る。					
8	事業内容	■市民主体の交流事業について 各姉妹友好都市協会と連携し、市民の国際交流活動を支援し、オンライン交流等も取り入れた相互交流を展開 ・ウェリントン市との青少年交流（中高生を相互派遣し、教育交流を実施） ・姉妹・友好都市提携にかかる周年記念事業（5年又は10年周期で実施） ・姉妹・友好都市から訪問する代表団や経済団の受入れ ・姉妹・友好都市交流団体が実施する事業の支援 ■都市間交流について ・教育、産業、環境等のSDGs達成に向けた幅広い分野での交流を推進し、双方がメリットを共有できる取組を実施 ・行政間のネットワークを活用し、企業・団体等の海外とのネットワーク構築、交流を支援					
	※国・府の基準より上回って実施した内容	—					
9	主な支出先	—					
10	公民連携・協働事業	—					

II. 事業目的の達成状況

事業の成果や活動実績の測定

成果指標	単位		実績		目標	目標
			令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和12年度
姉妹・友好都市交流事業開催数（総数）	回	目標値	34	23	28	28
		実績値	29	20		
		達成率	85%	87%		
当該指標を選定した理由	交流事業数が増加することにより、市民の国際理解の促進が図られ、事業目的に寄与と考えられるため。					
目標値の設定根拠・算出方法	周年記念事業を含んだ交流事業回数。過去の実績から目標値を設定。 【周年記念年度】 令和4年度：パークレー市（55周年） 令和5年度：連雲港市（40周年） 令和6年度：ウェリントン市（30周年）、ダナン市（5周年） 令和7年度：周年記念なし 令和8年度：周年記念なし					

活動指標	単位		実績		目標	
			令和6年度	令和7年度	令和8年度	
姉妹・友好都市交流事業参加者数（市主催事業）	人	目標値	480	480	513	
		実績値	1,885	298		
		達成率	393%	62%		
当該指標を選定した理由	本活動指標（事業参加者数）の増減は事業実施回数等（ニーズへの対応等）に影響することから、成果指標（事業実施総数）にも影響するため。					
目標値の設定根拠・算出方法	過去の実績から目標値を設定。					

令和8年度 事務事業評価シート（2）

事務事業名	姉妹・友好都市交流事業	事業番号	008-022
-------	-------------	------	---------

Ⅲ. 投入量											
事業コスト					※当初予算には、前年度からの繰越分を含む。（単位：千円）						
13	財 源 内 訳	項 目	令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度		
			決算		決算		当初予算		当初予算		
		事業費（a）	2,282		5,898		8,472		6,744		7,069
		国支出金	0		0		0		0		0
		府支出金	0		0		0		0		0
		市債	0		0		0		0		0
		その他（国際文化観光基金、関西国際空港利用促進・PR事業）	131		0		520		1,300		488
		受益者負担金(使用料、手数料等)	0		0		0		0		0
一般財源		2,151		5,898		7,952		5,444		6,581	
14	人件費（b）		14,750		26,630		30,040		29,190		33,220
15	年間経費（c）=(a)+(b)		17,032		32,528		38,512		35,934		40,289
事業費の内訳（単位：千円）											
16	事 業 費 内 訳	項 目	年度		事業費	うち 一般財源	項 目	年度		事業費	うち 一般財源
		堺・パークレー協会 補助金	R7	決算	504	504	堺ウエルトン青少年交流事業(受入) その他報償費	R7	決算	0	0
			R8	予算	504	504		R8	予算	504	504
		堺日中友好協会 補助金	R7	決算	189	189	日越文化交流フェスティバル 自動車借上料	R7	決算	0	0
			R8	予算	504	504		R8	予算	250	250
		堺ウエルトン協会 補助金	R7	決算	384	384	ウエルトン市長来堺 自動車借上料	R7	決算	0	0
			R8	予算	504	504		R8	予算	280	0
		日越文化交流フェスティバル 特別旅費	R7	決算	0	0	日越文化交流フェスティバル 謝礼金	R7	決算	0	0
			R8	予算	2,110	2,110		R8	予算	100	100
		堺ウエルトン青少年交流事業(受入) 自動車借上料	R7	決算	0	0	その他（普通旅費等）	R7	決算	5,667	4,367
R8	予算		600	600	R8	予算		1,713	1,505		

Ⅳ. 事業の効率性							
単位当たり経費							
17	①	姉妹・友好都市交流事業参加者数	人	令和6年度	2,469	令和7年度	772
	②	上記①にかかる年間経費	千円		32,528		35,934
	③	単位当たり経費（②÷①×1,000円）	円/単位		13,175		46,547
	算出についての説明等		姉妹・友好都市交流事業に係る事業費及び人件費を計上している。				

Ⅴ. 評価	
費用対効果に係る所見	
18	令和7年度においては、令和6年度に引き続き、対面交流とICTを活用したオンライン交流を併用し、姉妹・友好都市との交流事業を実施した。パークレー市へ堺市代表団を派遣し、パークレー市関係者等と意見交換を行ったほか、新型コロナウイルス感染症の影響により中断していた堺市中学生等のウエルトン市への派遣事業を令和7年度から再開した。令和8年度においては、より効率的な事業実施を図るため、ICTを活用したオンライン交流を中心に、各姉妹・友好都市との新たな分野での交流機会について検討し、交流機会の創出および事業の効率性の向上を図る。 なお、「Ⅳ. 事業の効率性」における単位当たりの経費については、前年度に比べ大きく増加している。これは令和6年度に姉妹都市・パークレー市の民間非営利団体による大規模集客イベントが臨時的にあり、その結果、令和7年度の単位当たりの経費が相対的に増加した。
KPI等への寄与（基本計画等のKPI・取組の方向性や事業の目的の達成にどのように寄与したか）	
19	パークレー市に堺市代表団を派遣し、イノベーション創出やスタートアップ支援など新たな分野での交流に向けた意見交換を行ったほか、パークレー市との相互派遣事業等を実施した。ダナン市との間では、ダナン市日越文化交流フェスティバルにおける堺市PR（ブース出展）や、対面交流再開後もコロナ禍で培われたノウハウを活かしたオンライン呈茶体験、介護分野でのオンライン交流を行った。さらに、ウエルトン市との間では、中学生等を同市へ派遣し、現地校への通学やホームステイ体験等を通じて、豊かな国際感覚を養う機会の提供と異文化理解の促進を図った。 これらの事業の実施により、これまでの友好親善を大切に交流を積み重ねることに加え、本市や海外姉妹都市の特性や強みを活かした分野での交流を推進し、国際交流の強化に寄与した。
20	令和3年度からの実績等を踏まえた事業の必要性・有効性に係る所見（前年度の事務事業評価で点検対象年度を令和7年度とした事業のみ記載） ■ 高い □ 低い 新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、対面交流事業を中心に延期・中止となったことから、事業開催数及び参加者数が伸び悩んだが、ICTを活用したオンライン交流の実施により、新たな交流形態を構築した。そのノウハウを生かし、対面交流再開後もオンライン交流との併用により、文化・教育・介護等の多分野における交流を実施している。これらの事業の実施により、各姉妹・友好都市との交流強化を図るとともに、国際感覚豊かな人材の育成や堺の交流人口の増加に寄与している。 ■ 高い □ 低い